



富山県SDGs宣言実施状況報告書



2025年 4月30日

企業・団体名 明るい社会づくり高岡市民会議

代表者名 代表 成瀬宜史 (なるせ よしふみ)

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和6年4月1日～令和7年 3月 31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】 海のプラスチックごみを減らし きれいな海と生き物を守る！(1)</p> <p>【実施状況】 1)伏木港の魅力を知る。及び 伏木港 万葉埠頭 の おかっぱりポイントと現状を知る。 2)SDGs関連の新聞記事 から 学び知識を得る。</p> <p><実施状況> ・1月1日発生いたしました、能登半島地震の影響で、伏木港 万葉埠頭 も甚大な災害となり、各所立入禁止区域が多くあり、活動が思うようにできませんでした。富山湾の状況を報道番組等で把握して、海底の状態・魚等生物の状況を知り、より、海洋を汚せない意識が高まり、明るい社会づくり高岡市民会議一同、目標に対する気持ちを高めた次第です。</p>
2	<p>【目標】 海のプラスチックごみを減らし きれいな海と生き物を守る！(2)</p> <p>【実施状況】 3)海のプラスチックごみはどこから来るのか？ を良く理解して、 更に、プラスチックごみを減らす行動の具体策(ポスターの作製など) 及び 再資源化について整え 行動に移す。</p> <p><実施状況> ・11月10日、明るい社会づくり運動 組織において、「明社推進連絡会」が開催され、「これからの明るい社会づくり運動」と題して、明るい社会づくり運動の活動と国連のSDGs とは目指すところは同じとの気づきから、各地区明社がSDGs の推進を地域に根差した活動展開することを支援していく方針が紹介され、SDGsへの取組み意識がより高められました。 また、プログラムの中で、全国から9 明社の活動紹介の時間があり、高岡明社の「プラスチックごみを減らすための活動」として、「100万人のゴミ拾い」「7 月7 日の松太枝浜でのマイクロプラスチック回収活動」「ポイ捨て禁止ポスターによる啓発活動」などのSDGs の取組みを紹介致し、出席者に共感頂きました。</p>
	<p>【目標】 海のプラスチックごみを減らし きれいな海と生き物を守る！(3)</p>

【実施状況】

4)海のプラスチックごみを減らす活動に協力頂く仲間を募る。

(学校関係、企業・行政・自治会関係、協力団体、報道関係 など)

5)自治体SDGsモデル事業を参考に、活動資金について考え行動する。

3

<実施状況>

・令和6年度も引き続き、100万人のゴミ拾い活動に参加の、高岡市立伏木中学校、富山県立伏木高等学校、富山県立志貴野高等学校、新たに高岡龍谷高等学校を対象に、ポイ捨て禁止ポスターを募り、19点の優秀作品について、表彰及び展示を行い、広く見て頂き、報道と共に啓発活動に繋げました。また、ポスターをチラシ化にして、あいの風とやま鉄道高岡駅構内で通勤・通学者にポイ捨て禁止を訴えるチラシを配布して、環境保全を呼びかけました。更に、堺勇人氏講演会を企画して、生徒中心に、SDGsについて理解が得られたと思っています。

・健康づくり組織(古府校下健康づくり推進懇話会)で、SDGs説明会の依頼を受け、2月15日に、「SDGsを学んで 健康につなげよう」と題して、説明会を開催しました。多くの方に理解が得られ、成果がでたと感じています。